



教えて!JA

農業に関する質問にお答えします!



A Q

トマトを栽培したいので、留意点などを教えて欲しいです。

【ほ場の準備】トマトやナスを

4〜5年作ったことのない場所を選びます。定植1か月前に1㎡当たり堆肥2kgと苦土石灰

100g、BMよりりん50gを、1週間前に緩効性肥料80gを全面に施し、深く耕し土とよく混ぜておきます。畝幅は1条植えて100cm、2条植えて150cmが目安です。

【定植】適期は、1段花房の最初の花が咲いた頃です。開花前の苗を植えると、草勢が強くなり1段目花房が着果せず流れてしまう事が多いので、若苗を購入したときは、少し大きなポリポットに鉢上げし、花が咲いてから植えつけます。トマトは、1段花房と同じ方向に上位花房が出るので、通路方向に第二花房をむけて植えます。

【整枝・誘引・摘果】わき芽はこまめに摘み取り1本仕立てにします。摘芯は、6〜7段花房の花が咲いたら、花房上2枚の葉を残して止めます。1つの花房に多くの実がついたときは、大きな形のよいものを4〜5個残します。

【追肥】1回目の追肥は1段果房がピンポン玉位になった時にほ場1㎡当たり20gの高度化成肥料を穴肥します。2回目は5段果房の開花時に30gを、3回目は7段花房の開花時に30gを追肥します。

ワンポイントアドバイス

葉が内側に巻き込んだ状態となれば肥料が多すぎるので追肥は行わないでおきましょう。



栗東営農経済センター 営農購買課 山下 茂樹



A Q

オクラの植え付けが終わったのですが、この後の注意点やアドバイスが欲しいです。

【間引き】子葉が開き、本葉が1〜2枚展開した頃に発芽が遅れた株や混み合ったところを間

引き、2〜3本立ちにします。間引きの際は根を傷めないよう、ハサミを使って株元から切るようにします。ポットで育苗している場合は、子葉が開いたら2本に間引きします。植え傷みさせないよう本葉3〜4枚の若苗で定植し、2本立ちにします。

【追肥】生育が旺盛になるので、肥切れさせないように追肥します。本葉5〜6枚頃に株元付近に1回、開花期以降は草勢や葉色をみて2〜3回、畝の肩に施し土と混ぜます。量は1回に1㎡当たり高度化成肥料を30g程度にします。花が頂部につくときは、若どりして追肥します。順調な生育の時は開花節の上にも5〜6枚の展開葉があります。

【収穫】播種後50〜60日で収穫できます。莢の長さが5〜8cmくらいが収穫適期です。莢が大きくなりすぎると硬くなり、食味が悪くなり、あとから着く莢の生長も悪くなります。収穫の際には、草勢に応じて莢の下葉も掻き取るようにします。



栗東営農経済センター 営農購買課 西村 聡司

地上部が大きく育つと倒れやすくなるので、草丈が1mになったころを目安に支柱と紐を用いて固定しましょう。

ワンポイントアドバイス